

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	新宮市立神倉小学校	山本眞也
学校所在地		
〒647-0005 和歌山県新宮市千穂1丁目2番40号 Tel 0735(22)8454 fax 0735(22)8458		
担当者名		担当教科
山本 健一		第5学年主任
<b>〔学校の概要〕</b> 本校は平成24年4月1日、丹鶴小学校と千穂小学校が統合し、神倉小学校として開校した。校区は新宮市の西側、千穂ヶ峰に沿った地域と旧市内を南北に縦断する国道42号線の熊野大橋から広角までの道路沿い両側を含む広範囲にわたる。学校の立地は、千穂ヶ峰のふもとに位置し、世界遺産である神倉神社、熊野速玉大社には含まれた閑静な地域にあり、恵まれた環境の中で子ども達は生活している。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5年生 96名	職員 8名	本校、和歌山県世界遺産センター、熊野古道
実践研究テーマ		
世界遺産について学習し、郷土を愛する心を育む		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう、熊野新宮について調べよう	
<b>〔キーワード〕</b> 世界遺産学習 郷土愛 情報活用能力		
<b>〔単元目標〕</b> (1) 世界遺産について考える。 (2) 実際に熊野古道を歩いたり、和歌山県世界遺産センターの講座を受講したりすることで、地域にある素晴らしい世界遺産について体験を通して知ることができる。 (3) 世界遺産を自分達で守っていこうとする心情を育てるとともに、自分達にできることについて考えることができる。		
<b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b> 全体 15時間 （「世界遺産について調べよう、熊野新宮について調べよう」 10時間 ）		
<b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b> 和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産とは何かを学習する。</li> <li>日本に登録されている世界遺産を知る。</li> <li>世界に登録されている世界遺産を知る。</li> </ul>	日本の世界遺産と世界遺産について知り、興味をもたせる。	発言 ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産入門講座を受ける。</li> <li>世界遺産マスターに、熊野古道についての話を聞きながら、実際に熊野古道を歩く。</li> </ul>	「紀伊山地の霊場とその参詣道」がどのような世界遺産であるのか関心がもてるようにする。実際に体感しながら、地元の世界遺産を味わわせる。	発言 観察
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産について興味をもったことについてまとめる。</li> </ul>	各自の興味関心にそった内容について調べ、世界遺産への理解を深めさせる。	発言 ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産について調べ、まとめる。</li> </ul>	熊野古道や熊野について学習し、本地域の世界遺産について興味をもてるようにする。インターネットや図書を利用できるようにする。	ワークシート
〔单元学習の成果と課題〕			
(成果) 机上の学習や調べ学習だけではなく、実際に入門講座を受講したり熊野古道を歩いたりするなどの現地学習を行うことで、地元にある世界遺産について知ることができた。また、世界遺産について調べ、まとめることにより、「どのような世界遺産があるのか」「どのように登録されているのか」などの理解を深めることもできた。			
(課題) 学習したことをまとめることはできたが、それを発表する機会を持つことができなかった。			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の世界遺産に目が向き、守ろうとする人々の願いを感じたり自分の郷土を誇りに思ったりすることができた。</li> <li>保全活動に関心を持ち、環境を守ることへの意識が高まっただけでなく、地元の素晴らしい遺産を自分達も大切に受け継いでいこうという意識が芽生えた。</li> </ul>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>やはり実地学習に勝るものはないので、このような事業・講座を活用し、その上で学習を積み重ねていくことが必要だと感じた。</li> <li>地元の世界遺産に興味を持ち、自分たちのふるさとを誇らしく思えるような世界遺産学習を展開することが重要であると感じた。</li> </ul>			

## 様式 2

平成 29 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

テレビではよく世界遺産のことをしていたが、自分たちの近くにある遺産についてはあまり考えたことがありませんでした。しかし、今日の話聞いて、世界遺産の素晴らしさやどのように登録されているのかを知ることができたので、私は地元の世界遺産を大切にしたいと思いました。

実際に熊野古道を歩いてみてすきとおった空気や森のおいを感じる事ができました。普段はあまり歩かないけれど、これからはもっと家族で歩いてみたいと思います。

私たちの学校からは世界遺産の一つである神倉神社が見えます。自分の身近な所にもすばらしい世界遺産があることに改めて気づきました。この遺産を大切にしていきたいと思います。

世界遺産には、文化遺産・自然遺産・複合遺産というものがあると初めて知った。そして、僕たちの町の世界遺産が、文化遺産だということも初めて知りました。僕たちもこの遺産を守り続け、残していかななくてはいけないと感じました。

古道を歩いていたら、みんな自然と歌をうたいました。その歌は郡市音楽会で合唱する曲で、熊野の森や那智の滝を歌ったものです。きっとこの熊野古道の自然の美しさが僕たちの胸にひびき、歌いたくなったのだと思います。この世界遺産を大事にしていこうと思いました。

